2022年4月からの不妊治療の保険適用料金表

令和７年4月７日作成

一般不妊治療・人工授精

項目	3割負担(円)	内容	備考
一般不妊治療管理料	750円	一般不妊治療を計画管理する	
人工授精	5,460円	子宮の中に精子を注入する方法	次のいずれかに該当する場合 ・精子・精液の量的・質的異常 ・射精障害・性交障害 ・精子一頸管粘液不適合 ・機能性不妊

ART

項目		3割負担(円)	内容	備考
生殖補助医療料	生殖補助医療管理料 生殖補助管理料１	900円	生殖補助医療を計画管理する 管理料１の条件 1. 看護師心理士などによる相談 2. 保健医療サービス、福祉サービスとの連携 3. それらの情報収集	・女性の年齢が 43 歳未満である場合に限る。 ・患者とパートナーが婚姻関係にあること。 ・患者とパートナーが治療の結果出生した子について認知を行う意向があること。

AMH

項目	3割負担(円)	内容	備考
抗ミュラー管ホルモン(AMH)	1,800円	内分泌学的検査（採血） 卵巣の予備能力の目安	調節卵巣刺激法におけるゴナドトロピン投与量の判断を目的として実施した場合 （ただし、６ヶ月に１回まで）

採卵

※別に薬代が必要です

項目		3割負担(円)	内容	備考
採卵術	１個の場合	16,800円	卵巣から卵子を回収する手術	・卵管性不妊 ・男性不妊（閉塞性無精子症等） ・機能性不妊 ・人工授精等の一般不妊治療が無効であった場合
	2-5 個の場合	20,400円		
	6-9 個の場合	26,100円		
	10 個以上の場合	31,200円		

受精

項目			3割負担(円)	内容	備考
体外受精・顕微授精管理	体外受精		9,600円	受精 体外受精のみであれば体外受精分のみ。 顕微授精のみであれば顕微授精分のみ。	・卵管性不妊 ・男性不妊（閉塞性無精子症等） ・機能性不妊 ・人工授精等の一般不妊治療が無効であった場合
	顕微授精	１個	11,400円		
		2-5 個	17,400円		
		6-9 個	27,000円		
		10 個以上	35,400円		
卵子調整加算			3,000円	顕微授精にて受精卵を作るための卵子活性化処理	当院ではカルシウムイオノフォアを行います
新鮮精子加算			3,000円	新鮮精子を使用して体外受精または顕微授精を実施した場合	

培養

項目		3割負担(円)	内容	備考
受精卵・胚培養管理料	１個の場合	13,500円	受精卵から初期胚を作成することを目的とした処置。 初期胚ならここまで。	当該患者及びそのパートナーから採取した卵子及び精子をもちいて作成された初期胚または胚盤胞について培養を行なった場合
	2-5 個の場合	18,000円		
	6-9 個の場合	25,200円		
	10 個の場合	31,500円		
受精卵・胚培養管理料 胚盤胞	１個の場合	4,500円	胚盤胞に育つように培養する。 胚盤胞にするには上記にこの必要が加算される。	
	2-5 個の場合	6,000円		
	6-9 個の場合	7,500円		
	10 個の場合	9,000円		

本資料は、2022 年２月９日に開催された第 516 回 中央社会保険医療協議会
(中央社会保険医療協議会総会) の資料を元に作成しました。
今後、変更点がある場合があります

胚凍結

項目		3割負担(円)	内容	備考
胚凍結保存管理料導入時	１個の場合	15,000円	受精した卵（胚）を最初の１年間凍結保存する。	凍結する受精卵（胚）の数によって費用が異なります。
	2-5 個の場合	21,000円		
	6-9 個の場合	30,600円		
	10 個の場合	39,000円		
胚凍結保存維持管理料		10,500円	受精した卵（胚）を凍結保存を延長。１年間凍結保存をする。	・胚の凍結から1年を経過している場合、凍結胚の保存に係る維持管理を行った場合に1年に1回に限り算定。 ・妊娠等により不妊症にかかる治療が中断される場合であって、患者及びそのパートナーの希望により凍結保存を継続する場合にはその費用は患者の負担とする。

胚移植

※別に薬代が必要です

項目	3割負担(円)	内容	備考
胚移植術 新鮮胚移植	22,500円	受精した卵（胚）を子宮の中に戻す	当該患者の治療開始の年齢が 40 歳未満である場合６回 40 歳以上 43 歳未満３回 （ただし、次の児の妊娠を目的として胚移植を実施した場合には治療開始年齢が 40 歳未満なら６回、40 歳以上 43 歳未満なら新たに算定可能）
胚移植術 凍結・融解胚移植	36,000円	受精した卵（胚）を子宮の中に戻す	・治療開始年齢は初回胚移植は該当採卵にかかる計画を作成した年齢 ・２回目以降で改めて採卵しないものは移植にかかる計画を作成した年齢 ・２回目以降の移植で改めて採卵する場合には採卵にかかる治療計画を作成した年齢
胚移植術 アシステッドハッチング	3,000円	孵化（受精卵の殻から出ること）を助ける	
胚移植術 高濃度ヒアルロン酸含有培養液	3,000円	着床を助ける	

男性不妊

項目		3割負担(円)	内容	備考
男性不妊	Y 染色体微小欠失検査	11,310円	男性不妊の検査	
	精巣内精子採取術 単純なもの	37,200円	精巣から精子をとる手術	・閉塞性無精子症 ・非閉塞性無精子症 ・射精障害で他の方法での精子採取が難しいと判断した場合
	精巣内精子採取術 顕微鏡を用いたもの	73,800円	より細かく精巣から精子をとる手術	・非閉塞性無精子症 ・他の方法での精子採取が難しいと判断した場合

採卵に関わる料金シミュレーション内容

例１　採卵数７個、体外受精、胚盤胞３個凍結

採卵術 26,100円＋体外受精9,600円＋新鮮精子加算3,000円＋
培養32,700円＋胚凍結 21,000 円＝計 92,400円

例２　採卵数 10 個、顕微授精、胚盤胞６個凍結

採卵術 31,200 円＋顕微授精 35,400 円＋新鮮精子加算3,000円＋
培養 40,500 円＋胚凍結 30,600 円＝計 140,700 円

例３　採卵数２個、顕微授精、初期胚１個凍結

採卵術20,400円＋顕微授精17,400円＋新鮮精子加算3,000円＋
培養18,000円＋胚凍結15,000円＝計73,800円

※上記に加えて、診察や薬剤の費用が発生します。

Oak Clinic
医療法人オーク会

2022年4月からの不妊治療の保険適用料金表

令和７年4月７日作成

採卵に関わる料金シミュレーション内容（拡大）

例１　採卵数７個、体外受精、胚盤胞３個凍結

採卵術 26,100円＋体外受精 9,600円＋新鮮精子加算3,000円＋
培養32,700円＋胚凍結 21,000 円＝計 92,400円

例２　採卵数 10 個、顕微授精、胚盤胞６個凍結

採卵術 31,200 円＋顕微授精 35,400 円＋新鮮精子加算3,000円＋
培養 40,500 円＋胚凍結 30,600 円＝計 140,700 円

例３　採卵数２個、顕微授精、初期胚１個凍結

採卵術20,400円+顕微授精17,400円+新鮮精子加算3,000円+
培養18,000円+胚凍結15,000円＝計73,800円

※上記に加えて、診察や薬剤の費用が発生します。

本資料は、2022 年２月９日に開催された第 516 回 中央社会保険医療協議会（中央社会保険医療協議会総会）の資料を元に作成しました。
今後、変更点がある場合があります

Oak Clinic
医療法人オーク会